成人式
心の晴着で出席しよう

アンケート実施　1月15日決定

また一月十五日が訪れる。成人の日、人間の一生において、大きな区切りの日そして脱皮の日……めでたい日だ。しかし喜こぶ人、顔をくもらす人と悲喜こもごも、何故？

「母さん成人式の着物買うてちょうだい」……

「だって皆んなが着て行く」こんな会話が聞れるからだ。

八月一日発行の「いわむろ」第七六号を、もう一度ごらんになって下さい。

『成人式は晴着ショーか？みんなで式の意味を考えよう』と、問題を投げかけてあります。

来年、成人を迎えられるご家庭も、ご本人も、これでよいのだろうか？家ではこうしよう。わたしはこうしたいと、いろいろ考えてこられたことと思います。

公民館では、九月下旬に「成人式に関する調査」を実施しました。この調査は同じ項目について成人向、家庭向にわけて、ご本人とその家族の方々が、成人式の時期や内容、ことに最近社会問題となっている、女子成人の服装について、どのように考えていられるかを答えていただいたものです。

家庭向、成人向ほとんど同じ傾向があらわれていますが、この調査の結果を集計した資料に基いて、去る十一月十六日、主催者である村当局と公民館運営審議会が合同会議を開き、慎重に検討した結果、次のような結論に達しました。

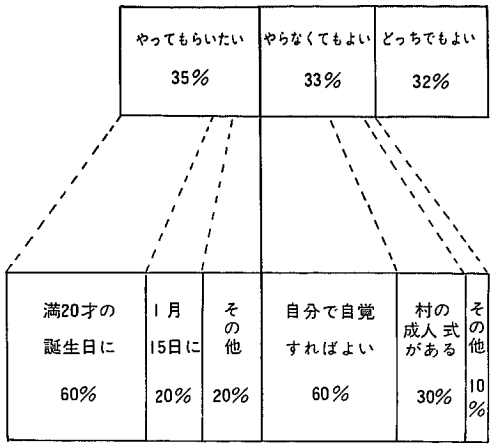
①一月十五日の「成人の日」に実施する。

②先輩の佐藤幸雄氏と長谷川秀雄氏の青年の船による東南アジア視察報告を中心にして、青年の夢や役割について語り合う。

③女子成人の服装については、洋服で出席してもらうよう、強く要望する。

このようにして、来春の「成人を祝う若人の集い」の骨組みが決まりました。

次に、調査の結果にあらわれた主な点をご紹介しましょう。茶の間の話題に取り上げて下さい。広く村民のみなさんから建設的なご意見を寄せていただければ幸いです。成人式をより意義深くし、たしかなものにするために……



成人を祝う行事の内容について

寒い会場で、同じような内容の挨拶やら祝辞やらが続く、その後でまたえらい先生の記念講演が、ずらずらと長い、寒いしたいくつだし、早く同級会の席へ行って一ぱいやろうじゃないか。

座談会といっても、多勢の前で改まってしゃべるのは、大きらいだよ。サマにならねえよなあ。

これが成人式に対する、いつわりのないカゲの声でした。

ところが、一番評判の悪い記念講演と座談会が、希望する内容のトップを占めているのは皮肉な結果でした。

しかしそれは、単なる数字のあらわれ方であって、自由に書いてもらった意見を加えて分析してみますと次のようなことが浮んできました。

・先ず〝式〟という先入観念にとらわれた、儀礼的なものだけでは困る。

・式はなるべく簡潔にし、一方通行でなく、成人者自身も、やわらかく楽しい雰囲気の中で、成人の喜びと責任をかみしめられるような内容がほしい

・そのためには成人式という呼び方を変えてみてもよいのではないか。

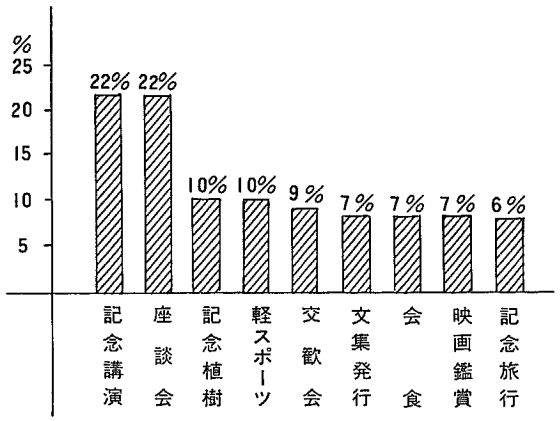
例えば、

新成人の集い

成人を祝う青年の集い

というように、

さて、このような分析検討を経て、さきに述べた通り佐藤・長谷川両先輩の東南アジア視察報告を、次の成人式の中心におくことに決定したのであります。

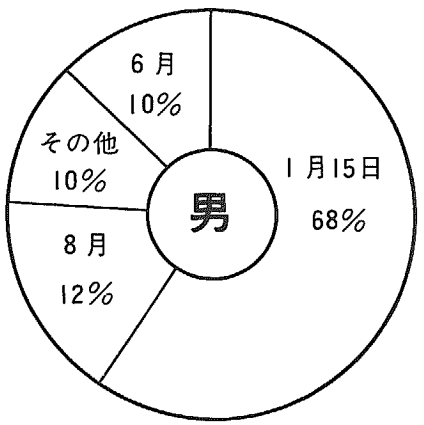


家庭での成人の祝いについて

意見は、おおむね三等分ですが、質問の小項目に対する答え方から見ますと、形式より気持ちの問題だという考え方が、圧倒的に多く出ています。

やるとなれば形にとらわれることなく満二十才の誕生日に、家族全員で、大人の仲間入りを祝ってやるのが望ましく、何よりも、本人が大人としての自覚を持つことが大切であると強く調されています。

成人式はいつがよいか



時期と着物の関係が、はっきり出ています。八月実施を希望する人の大半が、服装の問題が解決するならば、やはり一月十五日がよいという意見を出しております。

関連する質問事項を総合的に集約しますと、

・時期の決定は、あくまでも「集りやすい」ということを、第一条件として考えるべきであって、

・メーカーの商戦でつくられる、ブームとか流行にのせられて、自分の個性やふところ具合を無視して「せめて人並みに」という言葉に幻惑された、晴着騒ぎで成人式の時期を左右するのはおかしいではないか。

・岩室村では、過去の出席状況からみても、国をあげて成人を祝う一月十五日に、成人式を挙行することを否定する理由はない。

このように結論づけられるようです。

審議の結果とも一致した結論でありましたので、次の成人式は、昭和四十四年一月十五日に挙行することに決定したのであります。

女子成人の服装について

服装は本来、個人個人が自分の服装に対して、しっかりした考えを持って、自分の個性と経済能力にふさわしい服装を選ぶべきだとされています。

図表の上では、すでに着物を作った人、これから作る人が25%、着物を作らず洋服で出席しようとする人が35%、あとの40%の人はまだ決めていないと言っています。それぞれの答え方をされた人は、服装についてどんな考えをお持ちなのでしょう？

関係質問の中では、親の立場では70%、本人の気持ちでは60%ほどの人が、着物でなく洋服で出席できるような内容で、成人式を実施してほしいと訴えています。そしてその理由として人並みに着たい着せたいと言っているのです。

そこには、自主的な認識も、成人としての喜びも自覚もかげうすく、ただ「人並み」ということに対する人間の弱さが、うずをまいているようです。

美しいものへのあこがれと、せめて人並みに、いやひそかに人より小でも先に、ということが世間にある限り、流行は果しなく作られていくといわれています。

主催者は強くそ　ます。成人式には、洋服で出席して下さい。

うわべを飾るのに、数万円も十数万円もの貴重なお金を投ずるのは、止めようではありませんか。しかもいわゆる「あとばら」をいためるようなやり方は、断固として止めましょう。

これはひとり成人式だけの問題ではありません。学校の入学式や卒業式の服装も、成人式以上に問題にされてきました。保育所やPTAの会合ですら、服装に神経をとがらせる傾向があります。

お母さん方、お嬢さん方勇気を持って服装問題に取り組んで下さい。答えは簡単なのです。さりげなく、清潔なよそおいこそ、あなたの奥床しい人柄が、光りを増してくるのです。

華美な成人式化は村当局にも責任がある

私は娘と共に成人式の意義を話し合った。今後娘を一人の大人として扱い行動に責任を持ってもらうことにした。私も親として、金をつごうして、着物を買って与えた。しかし、娘は洋装で参加するとのこと。自分の子供ながら、立派だと思った。もっと家庭で、成人式の意義について、子と話し合う必要があるのではないか、村当局も、式典のやり方にも研究が必要だ。

たとえば、成人者が記念植樹して、村有林を、見事な杉林にして、村の将来の財源にしたら、それこそ、意義ある成人式だ。

（成人者一父親）

成人式の華美になったのは村当局にも責任はある。成人式というと、記念講演とおきまり、昨年公民館職員が活動的な成人の集いにしようと宣伝していたが、結局ダメになった。ことしも講演、抜本的な解決策がなっていない。横山村長は住民の声を尊重しているが、『公共施設の公聴会』で衛生センター、火葬場、ゴミ焼却場を視察し、村政を理解してもらうのは、よいのではないか、私達も社会人として、村の現況を知る義務があると思います。村当局のアイデアに富んだ、式典を希望する。そうすれば着物の問題は解決する。

（成人母親）

ブラウスで出席できる季節に

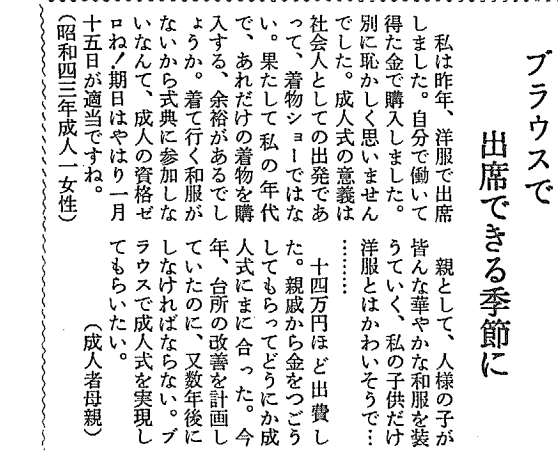
私は昨年、洋服で出席しました。自分で働いて得た金で購入しました。別に恥かしく思いませんでした。成人式の意義は社会人としての出発であって、着物ショーではない。果たして私の年代で、あれだけの着物を購入する、余裕があるでしょうか。着て行く和服がないから式典に参加しないなんて、成人の資格ゼロね！期日はやはり一月十五日が適当ですね。

（昭和四三年成人一女性）

親として、人様の子が皆んな華やかな和服を装うていく、私の子供だけ洋服とはかわいそうで……

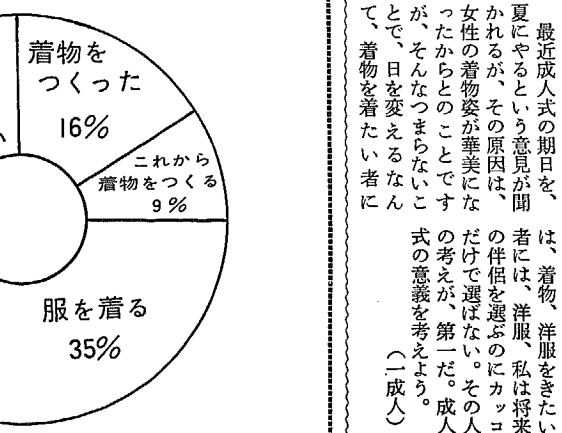
十四万円ほど出費した。親戚から金をつごうしてもらってどうにか成人式にまに合った。今年、台所の改善を計画していたのに、又数年後にしなければならない。ブラウスで成人式を実現してもらいたい。

（成人者母親）



最近成人式の期日を、夏にやるという意見が聞かれるが、その原因は、女性の着物姿が華美になったからとのことですが、そんなつまらないことで、日を変えるなんて、着物を着たい者には、着物、洋服をきたい者には、洋服、私は将来の伴侶を選ぶのにカッコだけで選ばない。その人の考えが、第一だ。成人式の意義を考えよう。

（一成人）



着物を母親にねだって買ってもらった。成人式に着ていくのが楽しみだ。囲りの友達が着物をみんな着ていくのに、私だけが洋服では……友達や親戚の結婚式に招待されたとき、必要なので、この機会に買ってもらった。

（成人一女性）

おわりに

成人式の時期、内容、そして服装問題に焦点をあてて、調査結果や会議での分析検討の結果を御紹介しながら、成人式の問題を考えてきました。

成人式という一つの形式を通して、若い仲間たちが大人の仲間に入り、社会をつくる責任を、それぞれに分担して行く姿を、正しく認識してやりたいものであります。

親も子も、そして社会も共々に、何が一番大切なのかを見つめながら、新成人の誕生を祝ってやろうではありませんか。

あすの郷土をつくる若者たちの正しく強く美しい出発のために……